

ツキノワグマのエサ資源の事前予測について

例年、ツキノワグマの秋の主要なエサ資源であるブナ科植物（ブナ・ミズナラ・コナラ）の果実の豊作、凶作を予測することにより、ツキノワグマの出没傾向を予想している。エサ資源の事前予測については、ブナ科植物の雄花の落下数から推定している。

1 調査内容

・調査箇所

ツキノワグマの生息がこれまでに確認された8市町内の20カ所あまりの地点（中能登町・宝達志水町・津幡町・金沢市・白山市・能美市・小松市・加賀市）

・調査期間

5月～6月

・調査方法

各調査地点の1㎡あたりのブナ、ミズナラ、コナラの雄花の落下数を調査し、調査地点全体の平均値（個/㎡）によりエサ資源を事前予測。

(単位：個/㎡)

樹種	大凶作	凶作	並作	豊作	大豊作
ブナ	< 30	30 ≤ < 200	200 ≤ < 900	900 ≤ < 1,700	1,700 ≤
ミズナラ	< 50	50 ≤ < 200	200 ≤ < 300	300 ≤ < 500	500 ≤
コナラ	< 50	50 ≤ < 200	200 ≤ < 1,000	1,000 ≤ < 1,900	1,900 ≤

石川県林業試験場 小谷（2008）を参考に作成した判定基準

2 調査結果

樹種	事前予測	雄花の落下数 平均値 (個/㎡)
ブナ	大凶作（並作）	13 (411)
ミズナラ	豊作（並作）	439 (245)
コナラ	並作（並作）	676 (779)

※（ ）内は、昨年状況

3 着果状況における豊凶結果と平成28年の雄花調査によるエサ資源の事前予測

区分	着果状況における豊凶結果										H28 雄花調査 による エサ資源の 事前予測	凡例
	H16※	H17	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
ブナ	×	◎+	▲	◎	×	◎+	▲-	▲	▲	◎	×	大豊作 ◎+
ミズナラ	×	○	◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	◎	豊作 ◎
コナラ	×	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	並～豊 ○+
目撃件数	1006 (89)	57 (42)	128 (84)	58 (31)	353 (53)	60 (34)	126 (62)	147 (110)	256 (103)	195 (103)	— (154)	並作 ○
												並～凶 ○-
												凶作 ▲
												凶～大凶 ▲-
												大凶作 ×

※H16は大量出没があったことから事後に緊急調査を実施

※（ ）内は7月22日時点の目撃件数

4 今後の予定

8月に「着果状況調査」を実施し、より精度の高い豊凶予測を9月上旬に公表予定。